

*UICP Booklet 18*

共生の現代哲学 門脇俊介記念論集

*Contemporary Philosophy of Co-existence: Essays in Memory of KADOWAKI Shunsuke*



目次

序文のかわりに

小林康夫

7

第一部 行為・知覚・自己——現代哲学の共生の構図

意図的行為は理由の空間に含まれるのか？

意図的行為における因果・表現・制御

原 塑

11

知覚の概念主義の行方

古田徹也

33

門脇俊介とドレイファスはどこで分かれたか

ハイデガーと認知科学の対話を通して

吉田恵吾

57

和辻哲郎の倫理学における「信頼の行為論」について

ハイデガーとの対比から見る日常性における共生のあり方をめぐって

飯嶋裕治

77

徳と行為

文景楠

101

汝自身であるものになれ

『存在と時間』における〈自己〉の習得

西山達也

119

第二部 ケア・寛容・共生——共生の哲学の展開

看護行為の時間

西村ユミとハイデガー行為論の拡張

村上靖彦

141

それぞれに自分らしい寛容と共生

門脇俊介と多文化主義の哲学

三ツ野陽介

159

生死の存在論から他者依存性の政治哲学へ

共生の哲学のために

池田 喬

179

共生の現代哲学——門脇俊介記念論集